



らないものなので、もし災害が起きた時は、みんなの力になってくれると思います。人間の体は、水分が約六十%から七十%といわれています。水は、生命を維持するのに必要で、一日あたり二リットルから二・五リットルがいます。水は、生命を維持するのに必要で、一日あたり二リットルから二・五リットルがいます。おいしい水をもとめるんだと思います。私はこの洞川の水を、ずっとずっと守っていきたくて、そのために私にできる事を、考えてみました。それは、川にゴミや家庭の水などを捨てたり、流したりすることをやめる事。洞川は源流のある地なので、下の水までよごれてしまいます。だから、洞川では下水処理場ができました。家庭の水は、その下水処理場へ直接行き、きれいになってから川に流されます。これは、三年生の時、下水処理場に見学に行って知りました。この時は、どういう意味がよく分からなかったけれど、今になってはつきりと分かりました。そして、大事な事だっただんなど思いました。でも、観光客の中にはマナーの悪い人もいます。残念に思うことがあります。だから、学校で看板を作ったり、よびかけなどをして、この事を多

くの人に知ってもらいたいです。最後に、私はこの作文を書く事によって、水の不思議、恵み、大切さ、恐さを考える機会になりました。ここで書いた事を生かし、私にできる事を、やっけていきたいと思います。